

資格サポートコーナー ～エクステンション講座のご案内～

大阪工業大学では、資格取得・進路支援を行う課外講座として、**学生のやる気を伸ばし、将来へのビジョンを明確にする様々な講座を開講しています。**

今年の4月で資格サポートコーナーは9年目を迎え、2019年度は年間およそ550名が課外講座を受講しました。大学生活の4年間は学ぶことも多く、あっという間に経過してしまいます。3年次で就職活動が始まってから資格の取得を意識し始めるのではなく、在学中にしっかりと自分のキャリアプランを立て、それに向けた計画的な学習が事前にできるよう、1年次や2年次へも積極的な資格取得と進路支援を実施しています。

「自分は何をしたいのか」「どのような分野で、今後どのようにして活躍したいのか」という将来へのビジョンを共に考え、それらを確実に証明する為の手段として、また学生一人ひとりのやる気を伸ばすきっかけとして、専門的な知識を活かせる幅広いラインナップをご用意し、それぞれの学生の意向に沿った資格の取得を薦めています。資格サポートコーナーに訪れる学生の多くは、「将来のために何らかの資格を取得したいが、どんな資格を取れば良いのかわからない」「資格を取得したいが、最後まで継続的に学習できるか心配」と頭を悩ませています。資格取得までの過程においてはもちろん、その後の更なるステップアップまで、専任のスタッフが全力で学生の皆さまをサポートいたします。また梅田の学外スクールと連携し、受講可能なラインナップが拡充しております。詳しくは資格講座2020ガイドをご確認ください。学外スクール「資格とキャリアのスクールnoa」にて大阪工業大学在学価格で受講いただけます。今後のご子女の更なるご活躍のため、資格に向けての取り組みにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**一部の資格対策講座は、大学の卒業生ならびに
在学生・卒業生のご家族も在学料金で受講いただけます。
皆さまの更なるスキル向上、自己啓発の機会としても
是非ご利用ください。**

受講生の声 国家試験 基本情報技術者試験 合格!

■基本情報技術者試験講座 受講

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部
システムデザイン工学科3年次(受講時2年次)

荻野 実佳さん

私は就職活動の時に資格欄に書くことができる資格が欲しいと思い、この資格にチャレンジしようと決めました。独学では難しいと思い対策講座を受講したのですが、問題の解き方や出やすいところなど試験に関する知識も学ぶことができ、また出題範囲が広い試験ですが、効率よく勉強することができました。資格合格までは大変な道のりでしたが、たくさん知識を得ることができ、良い経験にもなったので、受講してよかったと思います。

お問い合わせ先 資格サポートコーナー 06-6967-9811(大宮直通) 大宮キャンパス:7号館3階 梅田キャンパス:6階 枚方キャンパス:1号館1階

2020年度 教育センターのご案内 教育センターでは、学びに関する悩みの解決をサポートしています。

大学教育は、高等学校校までに定められた知識や能力を身に付けていることを前提に、学生の自主性、自立した学習を基本として進めます。

しかし、大学入学直後は、これまでの受動的な教育・学習から能動的な学修への切り替わりに戸惑う学生や、「高校で物理を学習する機会がなかった」「数学に苦手分野がある」「高校で学んだ数学・物理の基礎をしっかり復習しておきたい」などの悩みを抱える学生が多くなります。

そのような学生のために、教育センターでは、個別学習相談の実施や、数学・物理系科目の補充授業である基礎力向上講座を開講し、専属教員や先輩学生が学生の学びを徹底的にサポートしています。

気軽に相談できる環境を整えていますので、授業で困ったことや不安なことがあれば教育センターを訪ねてください。

■教育センターについて ※大宮:大宮キャンパス、梅田:梅田キャンパス、枚方:枚方キャンパス

開室曜日	(大宮)月・火・水・木・金曜日 (梅田)月・火・水・木・金曜日 (枚方)月・火・水・木・金曜日 ※曜日・時期によって開室時間が異なります。教務課掲示板、教育センター内の掲示、HP、ポータルサイトで確認してください。
場所	(大宮)大宮7号館3階 (梅田)梅田6階(ラーニングコモンズ内) (枚方)枚方1号館4階(ラーニングコモンズ内)
教育センター所属教員	(大宮)数学担当:八尾 隆、堂之本 篤弘/物理担当:仲谷 隆次、兵庫 将夫、吉田 福蔵 (梅田)数学・物理担当:尾形 健一 (枚方)数学担当:岩崎 判二/物理担当:山田 省二
実施概要	① 個別学習相談 あらかじめ設定された時間を利用して、個別に数学・物理・英語系授業科目の課題や個別の質問などの個人指導・学習相談を行っています。学生個々の習熟度に合わせた指導を受けることができます。グループでの相談にも応じます。 ② 基礎力向上講座 数学・物理系の正課授業科目と連携し、高等学校の復習から授業の内容に沿った演習などを盛り込み、基礎を補完する講座です。 ③ 応用力向上講座 将来、大学院への進学を目指している学生、すでに大学院進学が決まっている学生を対象とした数学・物理の応用力を養う講座です。 ④ 夏期集中パワーアップ講座 夏期休業期間を利用して、数学・物理科目の高等学校の復習から後期授業の予習までを盛り込んだ基礎学力を強化する講座です。 ※キャンパスごとに講座名・内容が異なりますので、詳細は教務課掲示板、教育センター内の掲示またはHPにて確認してください。
申込方法	① 個別学習相談 直接センターにお越しください。 ※担当教員の待機表、基礎力向上講座の時間割は教務課掲示板、教育センター内の掲示またはHPにて確認してください。 ※枚方の教育センターでは、1号館1階エントランスでも個別学習相談に応じしています。 ② 基礎力向上講座 ③ 応用力向上講座 直接指定の教室へ行ってください。申込みの必要はありません。 ④ 夏期集中パワーアップ講座 所定のWebフォームから申込を受け付けます。 詳細については6～7月頃に掲示版、ポータルサイト等を通じてお知らせします。

お問い合わせ先 【大宮】教務課:06-6954-4083 【梅田】ロボティクス&デザイン工学部事務室:06-6147-6830 【枚方】情報科学部事務室:072-866-5301

■2020年度開講予定講座 一覧

講座名		開講時期
Microsoft® Office Specialist講座	Word 2016 Specialist / Excel® 2016 Specialist	前期、夏期、後期、春期
	PowerPoint® 2016	夏期、春期
	Word 2016 Expert / Excel® 2016 Expert	夏期、春期
CGエンジニア検定/画像処理エンジニア検定 講座(ベーシック) *併願講座もごさいます		前期
CAD利用技術者 試験講座 2級		前期、後期
ITパスポート試験講座		夏期
基本情報技術者試験講座		前期
宅地建物取引士 試験 対策講座		前期
簿記検定 講座 3級		前期
TOEIC® LISTENING AND READING TEST対策講座	はじめてのTOEIC®クラス	前期
	500点目標	前期
	650点目標	後期
ビジネス講座 秘書検定 2級		前期、後期
公務員試験 対策講座	教養コース	随時申込可
	技術職コース	
	土木職コース	
危険物取扱者試験 講座(乙種第4類)		春期
建築系就職試験 対策講座		前期
一級建築士 基本入門講座		後期
知的財産管理技能検定 講座 3級		前期、後期
ドローン検定(3級対策講座・基礎技能講習)		夏期
CAD利用技術者 試験講座 2級		夏期、春期
色彩検定® 講座 2級・3級 講座 *併願講座もごさいます		後期
基本情報技術者試験講座		後期
TOEIC® LISTENING AND READING TEST対策講座 スコアアップクラス		夏期、春期
公務員試験 対策講座 教養コース(Web)		随時申込可
基本情報技術者試験講座		前期、後期
CGエンジニア検定 講座(ベーシック)		前期
公務員試験 対策講座 教養コース(Web)		随時申込可

注1. 開講講座、開講時期が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
注2. 講座ごとに募集期限を設けております。

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学 後援会 会報誌



スーパーボールすくい出店の様子(城北祭)



今年度も大宮キャンパスでは第71回城北祭が、梅田キャンパスでは第3回茶屋町祭、枚方キャンパスでは第23回北山祭が開催されました。

城北祭においては後援会でスーパーボールすくいを出店し、多くの方々に楽しんでいただきました。売上金については、令和元年台風第19号災害義援金として、その全額を寄付させていただきました。

また、学生団体の各種展示内容について、後援会の役員・委員で審査を行い、優秀団体にはそれぞれ後援会会長賞を進呈しました。

CONTENTS

- | | | | |
|----|---|----|---|
| 2 | 後援会会長挨拶 内 美栄子 「人間力を高めよう」
学生対象の「安否確認システム」 | 11 | 2019年度主な就職先(学部)
2019年度内定状況(学部) |
| 3 | 学長挨拶 益山 新樹 「ご子女の門出を祝して」
学位記授与式と入学宣誓式のご案内 | 12 | 学部ニュース(工学部・研究科)
大学院進学について |
| 4 | 2019年度教育懇談会に参加して | 13 | 学部ニュース(ロボティクス&デザイン工学部・研究科)
大学院進学について |
| 6 | 2020年度定期総会と教育懇談会のご案内 | 14 | 学部ニュース(情報科学部・研究科)
大学院進学について |
| 7 | 就職活動本番突入!
キャリア形成支援部署の紹介(学年別の主な仕事内容) | 15 | 学部ニュース(知的財産学部・研究科)
専門職大学院進学のため |
| 8 | 2019年度就職活動を振り返る | 16 | キャンパストピックス
資格サポートコーナー講座のご案内・教育センターのご案内 |
| 10 | 2019年度主な就職先(大学院)
2019年度内定状況(大学院)・インターンシップに参加しよう! | | |

後援会会報

Vol. **65**

2020MARCH

発行

大阪工業大学 後援会
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1
大阪工業大学 学長室庶務課内
☎ 06-6954-4097

✉ OIT.Koenkai@joshio.ac.jp

後援会ホームページ

<https://www.oit.ac.jp/japanese/kouen/>
大阪工業大学後援会の携帯専用サイトは開鎖し、上記のサイトに統一されました。一部のフィードバック(ガラケー・ケータイ等)からは閲覧できない場合がございます。





大阪工業大学後援会 会長
内 美栄子

人間力を高めよう

卒業生・修了生の保護者の皆さま、ご子女のご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。

後援会一同、心よりお慶び申し上げますとともに、入学以来、ご子女の後援会活動へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

平成から令和へと新時代を迎え一年が経とうとしています。昨今ではIoTやAI技術が著しく進化し、私たちの生活環境も急速に変化を遂げ、利便性が向上しています。

またIT化が進む中、IoTで収集したビッグデータを基にAIが情報分析し、最適化を行うことで今まで人間が行っていたルーティン業務や単純作業が置き換えられるともいわれています。

皆さんはこの大学生活で多くの学びと経験を習得されたことでしょう。これからは皆さんの人間としての本質的な能力が問われる時代でもあります。

その中でもコミュニケーション能力、創造性は人間にしかないスキルです。チャレンジ精神や主体性を持って柔軟に行動できる心豊かな人間力を身につけ

て魅力的な人に成長してください。それが人間にしかできない人間力です。

皆さんがこれから実社会へ飛び立つ中で期待や不安でいっぱいだと思いますが、今まで築き上げた縦横の人間関係は大切な宝物です。

不安や辛くなった時に仲間やお世話になった先生方を思い出してください。きっとみんなが勇気や力をくれます。

これから出会う諸先輩方や仲間を大切にしてください。信頼すれば信頼され、たくさんの仲間と知恵が集まります。

そして、今まで成長を共に喜び見守ってくださっている家族への感謝を忘れず日々精進してください。

これからのご活躍を期待しております。

最後になりましたが、今日までご指導いただいた諸先生方ならびに手厚くサポートしてくださった職員の皆さま方には厚く御礼申し上げますとともに、大阪工業大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



大阪工業大学 学長
益山 新樹

ご子女の門出を祝して

卒業生・修了生の保護者の皆さま、ご子女のご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。ご子女が学位記を手にした姿をご覧になれますと、今日までの時の流れの中でのいろいろな場面を思い返され、感慨もひとしおではないかとお察しいたします。この晴れの日を迎えられたのは、ひとえにご子女ご本人の努力の賜物ではありますが、保護者の皆さまのお支えもあってのことと存じ、心からお喜び申し上げます。

ところで、人間社会発展の歴史をたどりますと、原始からの自然との共生の時代(Society 1.0: 狩猟社会)、長く続いた灌漑技術に基づく農業主体の時代(Society 2.0: 農耕社会)、蒸気機関発明を基点とする大量生産の時代(Society 3.0: 工業社会)、現代に至るコンピュータとインターネットの時代(Society 4.0: 情報社会)と進化してきました。そして、急速な科学技術の進歩により、私たちはまもなく「Society 5.0: 超スマート社会」に足を踏み入れることになります。Society 5.0とは、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、ロボット、ビッグデータなどの革新的技術を産業や社会に実装することで実現する近未来社会を指します。その理想像は、AIやロボットに支配され監視さ

れる未来ではなく、世界中の誰もが快適で活力に満ちたクオリティーの高い生活が送れる「人間中心の社会」です。このSociety 5.0という理想社会実現の担い手は、まさにこれから社会で活躍されるご子女一人一人です。本学は、「理論に裏付けられた実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人(プロフェッショナル)」として学生を社会に送り出していますので、ご子女はそれぞれの仕事を通じて間違いなくその一翼を担ってくれるものと信じています。

しかしながら、進化し続ける先端技術を駆使して人間中心の社会を築くための牽引役を務めるには、主体的に学び続けることが絶対に必要になります。ご子女には、大学・大学院を卒業・修了したからと言って、学ぶことまで終了することがないようにお願いしたいと思います。これから先、ご子女が新たな学修や学び直しの機会を求められることもありましょう。本学は、そのご要望に応えられる社会人再教育(リカレント教育)プログラムの整備を進めてまいりたいと考えています。

ご子女には“Be proud of OIT～大阪工業大学卒業生としての矜持～”を抱いて堂々と社会で活躍されることを祈念しております。

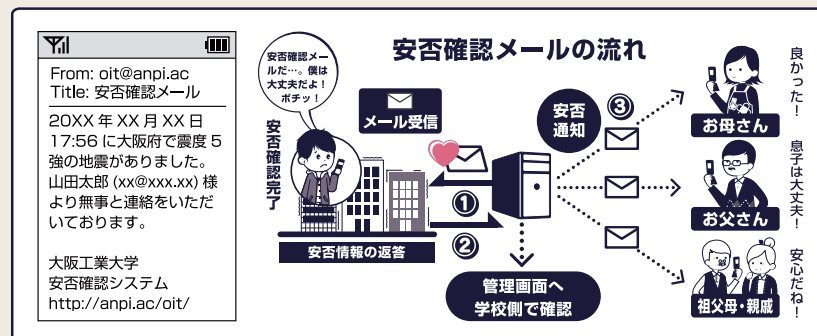
学生対象の「安否確認システム」

「安否確認システム」とは、大規模な災害等が発生した際に、メール等を利用して学生の安否情報を迅速に収集し、大学や保護者の皆さまへ配信することができるシステムです。

2018年の大阪府北部地震・西日本豪雨、2019年の台風15号・19号など、大きな災害がありました。今後、南海トラフ巨大地震等の発生が予想される中で、保護者の皆さまがご子女を安心して大学へ送り出すことができるよう、安否確認システムをご活用ください。

在学生を対象に、本システムを利用した応答訓練を年に数回実施しますので、ご子女が積極的に参加するようお願いいたします。

(保護者の皆さまが、ご子女の安否通知【右表参照】を受信するためには、ご子女の方が本学のポータルサイトにアクセスし、保護者さまのメールアドレスを登録する必要があります。)



学位記授与式と入学宣誓式のご案内

2019年度の学位記授与式が3月19日(木)に、2020年度の入学宣誓式が4月3日(金)に挙行されます。式場の様子は、インターネット配信により同時中継いたします。式場の収容人数には限りがありますので、ぜひこちらもご利用ください。

学位記授与式

日 時: 2020年3月19日(木) 10:00～11:00
場 所: 総合体育館<大宮キャンパス>
保護者席数: 1,300席(観覧席、同時中継室を含む)
同時中継: 当日9:50～11:10(予定)

入学宣誓式

日 時: 2020年4月3日(金) 10:00～10:40
場 所: 総合体育館<大宮キャンパス>
保護者席数: 1,350席(観覧席、同時中継室を含む)
同時中継: 当日9:50～10:50(予定)

～卒業記念品について～

卒業生には今後のご活躍を祈念して、学部生と大学院生それぞれに大学名を印字した筆記具が記念品として贈られます。



式典の中継映像がインターネットでご覧になれます! 大阪工業大学のトップページ (<http://www.oit.ac.jp/>) 上にありますバナーからお入りください。



2019年度

教育懇談会に参加して

昨年は7月から11月にかけて、大阪・博多・高松・福山・名古屋・福井・松山の7都市での教育懇談会の開催を予定しておりました。しかしながら、10月に福井・松山で予定していた教育懇談会については、台風の影響により、安全面を考慮しました結果、やむを得ず中止させていただくことになりました。

7月の就職支援セミナー、9月～10月の博多・高松・福山・名古屋会場および11月の大阪（大宮・梅田・枚方キャンパス）会場においては、全会場合わせて733組1,042名の保護者の方にご参加いただき、盛況のうちに本年度の教育懇談会を終了することができました。

そこで、地方会場に参加された皆さまからのご感想をご紹介します。



学長挨拶(大阪会場)



会長挨拶(大阪会場)



総括説明会(高松会場)



個別懇談(福山会場)



工学部説明会(大阪会場)

高松会場 情報科学部 情報システム学科 1年次

9/29(日) 松原 奈美 様

初めて教育懇談会に参加させていただきました。

総括説明会で大学院や就職等、ためになるお話をお伺いでき、1年次から出席して良かったと感じました。

お食事は先生方や後援会の方々和やかな雰囲気大学や息子の話を楽しい時間を過ごすことができました。

個別懇談では、ご指導いただいている先生から履修科目の単位修得状況、成績、今後の進路の考え方、息子の授業中の様子等をお伺いでき安心しました。

このたびは、有意義な機会をいただき先生方や後援会の皆さまに深く感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

博多会場 工学部 空間デザイン学科 4年次

9/29(日) 大久保 昭彦 様

「大阪工業大学で空間デザインを勉強する。」そう宣言した娘は、不慣れな地での一人暮らしやなじみの薄い進学先に心配を募らせる親をよそに、高校卒業と同時に福岡の自宅を離れ、大学生活をスタートさせました。

それから早4年。帰省のたびに大学の講義内容や先生方、友だちの話、アルバイトや国内外の研修旅行の体験談などを聴き、のびのびと充実した学生生活を送っていることが伝わってきて安心しました。卒業を控えた4年次になっての教育懇談会参加でしたが、大学の概要や教育・人材育成の特色、理工系総合大学ならではのきめ細かさ、学生に対する面倒見の良さをあらためて知ることができました。個別懇談により、親元を離れて過ごした娘の4年間の歩みも確認できた思いがします。各地の教育懇談会開催は、先生方や後援会のご苦勞も多いと存じます。貴重な機会を設けていただいたことに、心から感謝を申し上げます。

名古屋会場 工学部 電気電子工学科 3年次

10/6(日) 富田 伸子 様

昨年、名古屋会場は台風の影響で開催が見送られたので、今回初めて参加させていただきました。

総括説明会では、ますます充実する大学施設の話や学生の質の高さを追求するカリキュラムの話等、その取り組みに感心いたしました。また、年々変化する就職活動も分かり易く説明していただき、それに対応する就職課のきめ細やかなサポートを大変心強く思い、参考になりました。

個別懇談では、本人からはなかなか聞けない成績表の見方や出席状況をはじめ、今後の単位修得に何が必要で何が重要なのかということをも具体的に丁寧に教えていただきました。大学院進学や就職という進路について息子とじっくり話すきっかけにしたいと思います。有意義な時間を過ごすことができ、参加して本当に良かったと思います。このような機会をいただき、先生方や関係者の皆さまに深く感謝いたしますとともにお礼申し上げます。

福山会場 工学研究科 電気電子・機械工学専攻 1年次

10/6(日) 内田 純子 様

大学院1年次になった息子の教育懇談会に参加するのは、今回で4回目となりました。教育懇談会は大学生活の様子を直接伺うことができるとてもいい機会です。今年は大切な就職活動の時期になってきましたので参加しました。

就職課の方から大学の就職状況や就職活動状況などを詳しく説明していただきました。

またその後、研究室の先生とゆっくりとお話をすることができました。

この懇談会に参加するたびに、息子は大学に大変お世話になっているのだから、先生方もよく見て下さっているのだなあということを強く感じます。

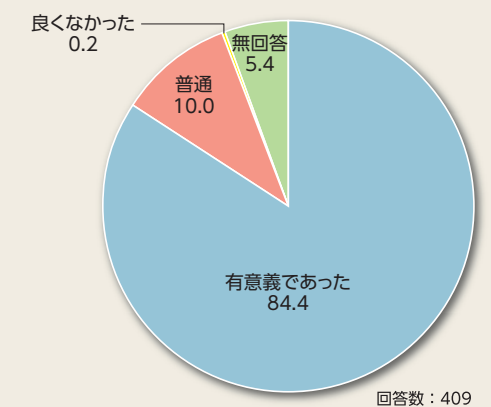
本当に感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

最後にこのような有意義な機会をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

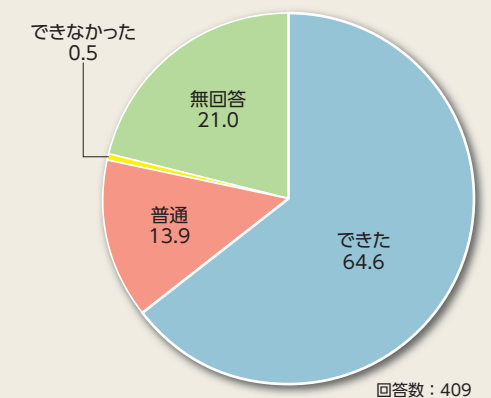
会場アンケートより

※全会場対象

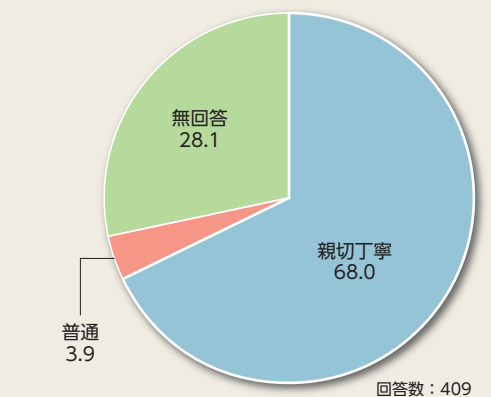
教育懇談会に参加されての感想はいかがですか？



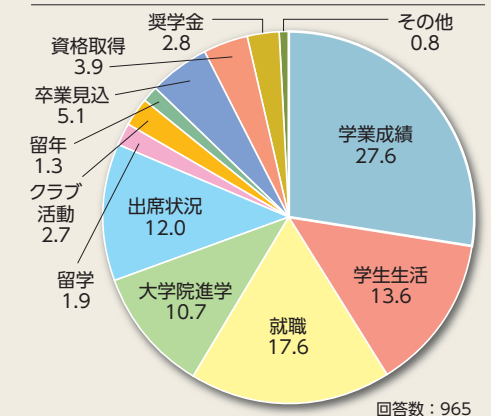
総括説明会での理解について



個別懇談時の担当教員の対応はいかがでしたか？



個別懇談ではどのようなことをお知りになりましたか？(複数回答可)



定期総会・教育懇談会

2020年度

定期総会と教育懇談会のご案内

定期総会

大阪工業大学後援会会則の第10条第2項に基づき、年に1度定期総会を6月に開催しております。教育懇談会と同様、会員の皆さまが集まる貴重な機会です。

当日は、総会議事のほか、大学の協力により、会員の皆さまにとって有意義な就職講演会や、個別相談の開催を予定しております。多数の皆さまにご出席いただきますようお願いいたします。

日 程	2020年6月6日(土)
場 所	本学(大宮キャンパス)
主な議題	2019年度事業報告、2020年度役員選任、2020年度事業計画、予算

教育懇談会

2020年度は、大阪・福井・名張・岡山・徳島・松山・博多の計7都市で開催予定となります。大学生活をより実りあるものとするため、教育懇談会において修学状況や就職相談、大学の現況等について、教職員が直接皆さまにご説明申し上げるとともに、保護者の皆さまと個別にご懇談させていただきます。

日程等の詳細につきましては、後日、開催案内を郵送いたします。また、後援会ホームページや後援会会報を通じても皆さまにお知らせいたします。

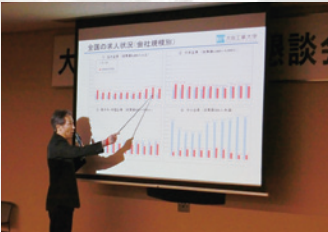
日程	開催場所	対象学部・研究科	その他
10月～11月にかけてのいずれかの土曜日もしくは日曜日	福井・名張・岡山・徳島・松山・博多	全学部、全研究科	学部生／大学院生
11月14日(土)	大阪(本学) 【大宮・梅田・枚方】	【大宮】工学部・知的財産学部・工学研究科・知的財産研究科 ※工学部「空間デザイン学科・ロボット工学科」を除く。	いずれか1会場を選択
		【梅田】ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科 ※工学部「空間デザイン学科・ロボット工学科」を含む。	
		【枚方】情報科学部・情報科学研究科	

地方開催会場につきましては、諸事情により変更となる場合がございます。予め、ご了承くださいますようお願いいたします。

※2020年度定期総会のお申込みについては、インターネット申込へと切り替える予定です。
(教育懇談会は2019年度のお申込みより、インターネット申込を開始しております) 予め、ご了承くださいますようお願いいたします。



定期総会



教育懇談会(大阪会場)における就職説明会

2019年度 退任者寄稿

岡本 智子 顧問

7年間の後援会活動で多くの皆さまと親しく交流させていただきました。学園祭では学生の方々の情熱に接し、梅田キャンパス開設においては進歩し続ける学園のパワーを実感しました。支えてくださった役員委員の皆さま、先生方、職員の皆さまに感謝すると共に後援会の益々の発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

秋山 紀子 副会長

後援会活動に携わらせていただき、大学の取り組み、教職員の方々のお気持ちを身近に感じることができました。このような機会をいただけたことに感謝いたします。今後も大学と後援会の更なるご発展を願っております。ありがとうございました。

横田 万里 副会長

後援会活動に携わり、貴重な体験をさせていただいた事に感謝いたしております。役を引き受けなければ知り得ない方々とお話しする事ができ、この4年間充実した日々を過ごさせていただき有難うございました。これからも後援会の皆さまのご活躍を祈念しております。

溝口 和美 監事

最初は不安な気持ちを抱えながら子どものために何か役に立てればと引き受けさせていただいた後援会、振り返れば活動を通して沢山の人達と出会い先生方にも大変お世話になりました。携われたお陰で子どもとも身近に関われた事、子どもは学力を身につけ、親の私も人の温かみ、優しさに触れ、色んな事を学んだように思います。貴重な時間を過ごさせていただき感謝の気持ちで一杯です。4年間本当にありがとうございました。

秋丸 知子 監事

後援会活動におきましては、大変お世話になりました。4年間務まるか不安もありましたが、多くの出会いと貴重な体験をさせていただき、あっという間で充実した有意義なものでした。ありがとうございました。

杉村 和美 常任委員

後援会活動では、いろいろな人との交流・行事に携わる経験が出来たことに感謝しております。ありがとうございました。

松枝 建次 常任委員

入学宣誓式からあつという間の4年間、後援会活動を通して様々な人との出会いがあり楽しく務めさせてい

ただき、お世話になりました。学生への教職員の方々の熱いご指導に感謝いたします。大学と後援会の発展を心よりお祈り申し上げます。

古賀野 道子 常任委員

保護者の皆さまのご不安等少しでも解消する一助になればと、微力ながらお手伝いできた事を幸せに思います。また、後援会に所属し、知り合えた全ての方々のご縁に感謝申し上げます。 工大の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

堀江 桃代 常任委員

4年間、後援会活動に参加させていただき、先生方や保護者の皆さま、学生たちとのたくさんの出会いや貴重な経験をすることができました。またメンバーにも恵まれ楽しく過ごすことができ、本当にありがとうございました。これからの大学と後援会の益々のご発展を祈念しております。

北 まり子 常任委員

後援会の活動を通じて、大学の取り組みや学生の活動にふれる事が多々あり、改めて歴史ある大学の素晴らしさを感じることができました。このような機会をいただけたことに感謝すると共に、今後も更なる大学の発展と後援会の益々の活躍をお祈り申し上げます。

2020年度 就職活動スケジュール

2020年度卒業生を対象とした大手就職情報サイトの合同企業説明会が3月1日から始まり、4月から4年次となる多くの学生は説明会に参加し、就活ナビや各企業のホームページからエントリーしている状況で、すでに就活本番に突入しています。その後、企業独自の説明会などに参加するとともに、「エントリーシート」の提出により本エントリーを行います。企業はエントリーシートの審査や適性検査などの後、6月になって面接や筆記試験による選考を実施し、6月から7月にかけて内々定を出すというのが一般的な就職(採用)活動スケジュールとなっています。

企業採用活動の早期化一層進む

しかしながら、ある就職情報サイトの2019年度における企業の採用活動調査によると、特に広報解禁直後の3月上旬までに独自説明会を実施した企業は58%(前年57%)、3月上旬にエントリーシートの受付を始めた企業は55%(同47%)といずれも前年を上回っています。また、3月中旬から4月中旬が面接開始のピークとなり、この時期に面接を開始した企業は半数に達し、2月以前でも14%に上るなど早期化は顕著で、6月の選考解禁を待たずに面接を開始した企業は90%(同88%)に及んでいます。当然に、内々定を出す時期も早まっており、75%(同73%)の企業が6月を待たずして内々定を出す状況となっています。このように多くの企業が事実上の選考を早期に実施している状況にあります。売り手市場のもと、年々企業の採用活動は早期化する傾向で、選考情報の確実な入手が肝要となっています。

就職部をフル活用

本学へ直接寄せられる求人は、学生一人当たり求人倍率20倍を超えています。ぜひ工大生を採用したいという意欲の現れです。就職部には、各企業の採用スケジュールなどの選考情報のほか、就職情報サイトでは見つけにくく、BtoB企業といわれる一般にはあまり知られていない優良企業情報が多く蓄積されています。本学が就職に強いのは、先輩たちが就職部をフル活用し、積極的かつ諦めずに就職活動をした結果といえます。

就職活動本番突入！

雇用環境は好調さを維持

2020年3月に大学・大学院を卒業(修了)される皆さんに対する全国求人倍率は1.83倍と、空前の売り手市場になりました。2021年3月卒業予定者も現在のところは好調さが続くものと見られています。

しかしながらいくら売り手市場と言っても、「タイミングを逃さない」ことが重要です。3月1日から就職活動が解禁され全国の学生が一気に動き出しますが、なかには先は長いのだからとのんびり構えている学生がいるのが実情です。企業は一年中いつでも採用選考を受けさせてくれる訳ではありません。人気のある企業ほど早々に採用活動を終了します。あとになればなるほど、応募者が極めて少なかったり雇用条件が悪い企業を受けなければならなくなることが多いのです。つまり、残り物にはあまり福はないということです。

本学は、一人ひとりの状態を常に把握しながらきめ細かいサポートをしていますが、なんとしても社会人となって自立するんだという気持ちの部分はご家庭において醸成していただく必要があります。保護者の皆さまと大学とが一体となって学生を支えてまいりたいと思いますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

就職部長 横倉 登

3年生での就活準備も重要

企業の採用活動の早期化により、3年次での就活準備もますます重要になります。秋の教育懇談会でもお伝えしましたが、3年次の5月から就活準備は始まります。学内での就職ガイダンスから始まり、夏にはインターンシップでの就業体験、学内業界研究会で業界事情を知り、就職模擬テスト・模擬面接や先輩の体験報告会を聞き就活スキルを磨く、2月までには自己理解・分析を終え、どんな業界でどんな職種に就こうとするか軸足を定めておくことが、早期化する企業の採用活動への対応策となります。そのために5月から始まる就職ガイダンスには必ず出席する、インターンシップにも積極的に参加し、就職部が行う各種支援行事には必ず参加することが望めます。「会社説明会の解禁は3年次の3月からだから、そこから就職活動を考えればいいや」では遅すぎます。会員の皆さまからもぜひご指導いただければ幸いです。

キャリア形成支援部署の紹介

学生の皆さんにとっては「日頃はあまり縁がない。どこにあるかも分からない。でも3年次になるといきなり現れて、知らないうちに利用している。」これが就職活動を終えた学生諸君の印象ではないかと思います。そこで、就職活動のシーズンにもなりましたので、この場を借りて、キャリア形成支援担当部署である就職部が一体どんなことをするところなのかを改めてお伝えします。大きな区分では、1・2年次は進路選択に伴う準備段階のサポート、3・4年次は実戦サポートになっていることです。本学の場合、例年全体の約82%は就職、16%が進学という進路選択をしますので、就職支援に重点を置いたサポート体制になっています。1年次は社会人として必要なコミュニケーション能力の向上に取り組んでいます。自己表現を考えることから自己実現を目指すことに結びつける内容です。2年次は実社会に対する理解を深めることに重点をおきます。いずれもグループワークを取り入れて、学生参加型の授業を実施しています。1・2年次での取り組みを3年次からの就職活動に活かす仕組みになっていますので積極的な参加を望みます。就職部では進路や就職支援に関する様々な疑問に答えています。保護者の皆さまにおかれましても、お気軽にお問合せ、ご利用くださるようご案内いたします。

■学年別の主な仕事内容

3・4年次	①求人企業の情報提供 ②履歴書・エントリーシートの校閲 ③推薦応募書類の準備と郵送 ④進路相談(学科別個人面談) ⑤就職活動支援行事(模擬テスト、セミナー、ガイダンス等)の実施 ⑥学内合同企業説明会の実施 ⑦インターンシップ参加サポート ⑧学業成績・卒業(修了)見込証明書の発行手続き受付		
1・2年次	①キャリア形成教育(授業) ②就職準備ガイダンスの実施 ③就職に繋げるキャリア教育支援		
所在	工学部・知的財産学部 大宮キャンパス (大阪市旭区大宮5-16-1) TEL:06-6954-4093	ロボティクス&デザイン工学部 梅田キャンパス (大阪市北区茶屋町1-45) TEL:06-6147-6406	情報科学部 枚方キャンパス (枚方市北山1-79-1) TEL:072-866-5308
担当部署	就職部就職課		
場所	7号館3階	OIT梅田タワー7階	1号館1階
窓口時間	(月～金曜日) 9:00～18:30 (土曜日) 9:00～17:00	(月～金曜日) 9:00～17:30 (土曜日) 9:00～11:30 12:30～17:00	(月～金曜日) 9:00～17:30 (土曜日) 9:00～11:30 12:30～17:00

工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻
(都市デザイン工学コース)、工学部 都市デザイン工学科

**公務員・民間企業ともに
好調な結果を得る**

この学科の進路の特徴はほとんどの学生が公務員・ゼネコン・建設コンサルタントの土木技術職として内定することです。今年度は年明けより1日インターンシップや現場見学会などの案内が増加しました。昨年と同じように土木職の若手を積極的に確保する傾向が続いています。民間企業の採用活動は比較的短期間で決着したと思います。6月には鉄道関係・大手ゼネコン・建設コンサルタントから内々定をいただきました。

一方、公務員を目指す約30名の学生は今年度は8月末にはすべて希望の自治体より合格を得ました。

この結果は、先生をはじめ卒業生や上級生の協力の賜物だと思います。次年度も学生がより良い活動ができるように、一層教職員が協力しサポートを心がけてまいります。

工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻
(建築学コース)、工学部 建築学科

**早期就職活動が
進路決定への近道**

企業の採用意欲が依然強いなか建設業界は、採用活動開始が他業界より約1カ月早く始まり、学生たちは企業のインターンシップ参加やOB・OG訪問をして企業理解を深めました。その結果、大学院生は、建築設計事務所を中心に大手企業などの専門技術職に就くほか、学部生も、大手総合建設業（ゼネコン）、ハウスメーカー、設計事務所、公務員など幅広く内定を獲得しました。選考時期の早期化により内定承諾企業決定が早まったこと、従業員500人以上の中堅大手企業への内定が7割を超えていることも今年度の特徴といえるでしょう。就職活動を通じて社会の厳しさを垣間見るとともに、日一日と逞しさを増していく姿には、先生方のサポートは勿論、卒業生・保護者も加わった学園の「四位一体」の精神がありました。新たに就職活動を迎えている学生たちの保護者の皆さま方におかれましても、その一員として強まる早期就職戦線に乗り遅れないよう、温かいサポートをお願いいたします。

工学研究科 電気電子・機械工学専攻
(電気電子工学コース)、工学部 電気電子システム工学科

**充実した学生生活こそが
就職活動の強い味方**

2019年度の就職活動は、売り手市場での就職活動で内定先企業も総合電機メーカー、自動車メーカー、ゼネコン、鉄道会社、化学メーカーと多岐にわたりその活躍の場が広がりました。しかし決して楽な就職活動ではなかったようです。早期化する就職活動に対して早い時期からのインターンシップの参加や自己分析、企業研究、筆記試験、履歴書作成、面接等の準備と対策は必須でした。また企業が学生に求めることは専門的な知識だけではなく、自分で考え行動することや、周囲の人との信頼関係を構築することなど、社会人としての基本的なことです。これは日々の学生生活で培われることです。一朝一夕で得られるものではありません。就職活動とは充実した学生生活を過ごしていただく強い味方になります。これからますます早期化、複雑化が予想される新卒学生の就職活動ですが、基本をしっかりと固めることが何より大切なこととなります。日々の大学生活を大切に過ごしてください。教職員も一丸となって多方面からの支援をしてまいりますので、ご家庭におかれましても温かいサポートをお願いいたします。

工学研究科 電気電子・機械工学専攻
(機械工学コース)、工学部 機械工学科

**社会人になる自覚を持ち、
自ら積極的な行動を**

選考スケジュールが企業ごとに異なり、臨機応変な就職活動が求められる環境下で、学生たちは大学生生活と就職活動を両立させ、内定を獲得していきました。今年は特にインターンシップへの参加が就職活動の「重要なカギ」となったと感じます。就職先としては、自動車関連メーカー、工作・産業用機械のメーカーに加え、食品や日用品メーカーの生産技術職などが挙げられます。実践的なものづくりなど多彩なカリキュラムから学ぶ知識はもちろん、クラブやプロジェクト活動をはじめ、学内・外でのボランティア活動、留学など、さまざまな課外活動経験が、企業への強いアピールに繋がったと実感しております。機械工学科で学んだ知識は、日本のものづくり産業を支える上で欠かせないものであり、そのスキルはさまざまな業界から求められています。大学での学び、多くの経験を活かし幅広い進路選択を行ってほしいと思います。

採用・就職に関して、世間ではここ数年「売り手市場」と呼ばれており、就職活動を控えている皆さんにとって有利な情勢となっていますが、いつの時代も社会人に求められる根本的なスキルに変わりはありません。学生時代にしっかり学び、広い視野で考え、人との関係を大切にできる人材が求められています。大学では、さまざまな面から学生生活をサポートし、教職員が連携しながら支援してまいります。ご家庭におかれましても、温かいサポートをお願いいたします。

工学研究科 化学・環境・生命工学専攻
(応用化学コース)、工学部 応用化学科

**「自分の道を切り拓く」
就活は向上心と行動力!**

2019年度の就職戦線は、前年度と同様、売り手市場の中、好調に進みました。主な就職先は、化粧品・医薬品、自動車・電子部品製造業など、専門性(化学)を活かした業界が殆どでした。中には全くの異業種に決定した学生もいましたが、いずれも学生自身が自分の進路に向かって努力し、最後まで諦めずに続けた末に得た結果です。次年度の就活に向けて、現3年次の中には既に本格的に始動している人とそうでない人がいますが、この取り組みの差が早期に内定を得るかどうかの結果に表れます。具体的には、会社説明会・選考の前哨戦ともいえるインターンシップに参加し、志望業種・企業を見出すことです。

就活は、“これをすれば内定”という小手先のテクニックは通用しません。自分に自信を持つこと、自信が持てるよう努力すること、自分の目指す就職先を知ること、そして向上心を持って行動することです。就活は学生生活の集大成ともいえます。悔いのない就職活動を送るため、教職員一体となって支援してまいりますので、ご家庭におかれましても温かいサポートをお願いいたします。

工学研究科 電気電子・機械工学専攻
(電気電子工学コース)、工学部 電子情報通信学科

**早め早めの準備を
心がけよう!**

早めの準備が満足いく就活のカギです!今年度も雇用環境は良い状況が続いています。12月末日現在の学科の就職状況は、学部生の就職内定率は97.8%、大学院生は100%となっています。また、大学院進学希望の学生も全て本学および他大学の大学院に合格し、大学院への進学を決めています。就職内定者のうち約8割が従業員500人以上の中堅・大企業から内定を得ており、率・質ともに充実した結果となっています。現在、就職率100%を目指して支援を継続中です。就職活動の特徴については、一部の企業がインターンシップを選考の一環と位置付けて、正式な企業へのエントリーが始まる前にインターンシップに参加した学生だけを対象に早期に選考を始めたということです。この方式は多くの企業に広がりを見せ、現3年次に対してはインターンシップ参加が選考の必須条件となりつつあります。したがって、採用試験の対策を早期に行い、万全に準備をした学生から順に内定を勝ち取ったといえます。売り手市場だからといって、「ゆっくり就職活動をしても何とかなる」というような油断は禁物です。早め早めの準備を心がけてください。

2019年度 就職活動を振り返る

2019年度の就職状況について、各専攻・学科の就職担当者からメッセージをいただきました。

工学研究科 化学・環境・生命工学専攻
(環境工学コース)、工学部 環境工学科

**環境への思いを発揮するため
進路にまじめに取り組む**

「環境に貢献したい」というキーワードを持ち入学し、環境保全・省エネ・資源循環など環境工学を学び、実験やグループワークでは仲間と協力する力を蓄えて就職活動の時期を迎えます。また、積極的にボランティアや地域活動に参加する学生が多いことも特徴だと思います。

進路先は地方公務員の市役所(土木職)、環境施設(上下水道・廃棄物処理)、建設コンサルタント、空調設備の業界など多方面です。また近年では、製造業で生産管理や技術営業を希望する学生もいます。

今年度は年明けより1日インターンシップなど積極的に活動はスタートした感じがします。6月には6割以上の学生が内々定をいただきました。傾向としては1カ月早くなったという感想です。内定先は上場企業など環境に配慮した企業です。採用が上向きとはいえ、まだまだ雇用条件が芳しくない場合も多いようです。入社後も技術職として実績を積みながら資格が取れる職につくことの意味は大きいと思います。学生の努力が一番ですが、先生をはじめ、卒業生や上級生の協力があつたからだだと思います。今後も教職員で学生の進路をサポートしてまいりますので、ご家庭でも温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

工学研究科 化学・環境・生命工学専攻
(生命工学コース)、工学部 生命工学科

**社会人になる自覚を早めに
持ちましょう!**

2019年度の内定先について。まず、特徴としては、「生命科学系」と「医工学」を中心に学んだ学生が在籍していることです。大学院生は研究を生かした研究職・技術職に内定をいただきました。学部生は、就職希望者が約79%。大学院進学希望者が約19%。就職希望者は、バイオ系・工学系、それぞれの技術を活かし、食品、医療機器、医薬品、化粧品、関連の企業を中心に、電気機械関連の企業も含め幅広い業界から内定をいただきました。今年度の卒業生は生命工学科として6期生。その内、生命工学科卒業生が在職している企業への内定は約49%。昨年度と比べ22ポイントの上昇で、これは同科の卒業生が活躍しているからだと言えます。3年次のガイダンス時には、4年次の先輩学生からの『就職活動』そのもののアドバイスが聞けるチャンスは何度も作りました。大切なのは、本人の早くからの就職に対する自覚と自己管理能力です。就職部では、先輩学生・教員・職員と連携を深め支援してまいります。ご家庭におかれましても、日頃からの進路・社会にある仕事についてお話しいただき、温かいサポートをお願いいたします。

ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻
(建築デザインコース・プロダクトデザインコース)、工学部 空間デザイン学科

**事前準備をしっかりと、
粘り強い就職活動を**

2019年度の主な内定先として、大学院生は建築設計事務所、総合建設業、ハウスメーカー、ディスプレイ業、大手家具メーカーなどへの進路が決まりました。大学院生はより高度な技術と能力を求められるため、研究以外に学外コンペへの応募や、他大学の学生との交流などによりスキルを向上させ、早くから就職活動用のポートフォリオを準備しました。また、学部生の建築・インテリア系コースの学生は、ハウスメーカーやリフォーム業、ディスプレイ業の設計職、施工管理職、そして、プロダクト・ヴィジュアル系コースの学生は、各種メーカーなどのデザイン職、開発職、営業職に決まりました。設計職やデザイン職を希望する学生は、選考試験でデッサン・設計の実技やポートフォリオのプレゼンテーションが求められるため、授業での設計・作品課題で培った日頃の成果を存分に発揮できるように訓練を重ねました。またプロジェクト活動や産学連携などの課外活動での経験を自己アピールに繋げました。

なかなか結果に結びつかず活動が長期化する学生も見受けられますが、教職員一丸となって粘り強く支援してまいりますので、ご家庭におかれましても温かいサポートをお願いいたします。

ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻
(メカロニクスコース/ソフトロボティクスコース)、工学部 ロボット工学科

**大学で得た知識・技術・能力を
活かした効果的な活動を**

2019年度は梅田キャンパスに移って3年目となり、先輩らの経験値を最大限に活かし昨年度に比べ優良企業への就職が多く、質的な向上に繋がりました。主な就職内定先としては、機械・電気・電子・情報関連の中で、産業機械・電子部品・自動車部品等の開発職、設計職、生産技術職及びSE職と多岐にわたります。特に大学院生は推薦枠を上手に活かし、実に約7割の学生が推薦応募で内定を勝ち取る効果的な活動となりました。また、学部生はより高度な専門技術をさらに身につけるために、3割近くの学生が本学部大学院修士課程に進学したのも大きな特徴でした。

就職活動に向けては履歴書作成や筆記試験対策のほか、面接練習を何度も繰り返し、実践対応に備えました。また大学生活で注力したこととして、研究活動のほか、授業での実験・実習の成果、資格取得、インターンシップ、クラブ活動、プロジェクト活動などで培った知識、技術、能力をPRできるように鍛錬しました。活動中、なかなか内定に至らず悔しい思いをした学生もいましたが、そのような時は何よりもご家庭での応援が支えになり、次なるエネルギーになったことと思います。

就職という人生の大きな節目に、教職員一丸となって粘り強く支援してまいりますので、ご家庭におかれましても温かいサポートをお願いいたします。

情報科学研究科 情報科学専攻、情報科学部コンピュータ科学科、情報システム学科、情報メディア学科、情報ネットワーク学科

**「チームの中で人間力を
高めて、自ら行動していこう!」**

2019年度のIT産業は、昨年に引き続き企業の採用意欲は高く、一方で早期化する採用活動に対応が必要でしたが、情報サービス、情報通信業への就職を主とする様々な業界から情報科学部で学んだ強みを活かすことで内定を得ることができました。学生の皆さんの就職活動では、早いうちから企業研究や面接対策を行うこと、「コミュニケーション能力」や「自ら考え、行動できる力」が求められます。情報科学部では1年次からのキャリア教育やチームによるプログラム・ソフトウェア開発を授業に取り込み、社会が求める人材の育成に力を入れています。情報科学研究科では、探究心を持って研究に取り組み、定期的な発表の場でプレゼンテーション能力も磨いています。また、大学院生は日々の研究内容を踏まえ、企業でのインターンシップ活動経験などを活かし就職活動に取り組みました。今後も、教職員が力を合わせ学生の個性に合わせた就職支援を行ってまいりますので、ご家庭におかれましても価値観や考え方が異なる人たちと触れ合い、自ら行動し、各々の道を切り開けるようご指導、ご支援くださいますようお願いいたします。

専門職大学院 知的財産研究科、知的財産学部 知的財産学科

**行動力を身に付け、
悔いのない就職活動を!**

2019年度の就職内定先業種は、メーカー、ソフトウェアを中心に、金融、鉄道、サービス、公務など多岐に渡りました。職種については、メーカーにおける知的財産部門のスタッフだけでなく、企画・営業部門などの営業職や事務職、金融機関の融資担当者など、大学での学びを活かし、様々な職種に内定しました。文系は進路選択の幅が広いため、低年次から視野を広くする必要があります。また、粘り強く諦めずに活動を続けること、たとえ不採用になった会社があっても、立ち止まらず前へ進み続けることが内定を勝ち取るために不可欠です。今後、世界情勢の変化で、ますますの競争激化が予想されます。その中で内定を勝ち得るためには、「早めの行動(準備)」と「粘り強さ」この2つが重要になっていきます。教職員が一丸となって、ご子女が悔いのない進路選択ができるよう支援を進めてまいりますので、ご家庭でも低年次から将来について話す機会を作っていただき、温かいサポートをお願いいたします。

工学部

Faculty of
Engineering

大学院進学について

工学部長・工学研究科長 森實 俊充



我が国は、技術立国として様々な困難を工業技術の力で乗り越えてきましたが、高度化かつ複雑化した社会問題の解決のために、専門的な知識や技術、分野融合的・領域横断的な広範な知識と技術、国を超えた協働などがこれから必要とされます。

学部4年間は、専門分野の知識や技術の修得に力点が置かれています。社会や産業界から求められている「総合的な能力」の涵養については、大学院を設置しています。専門性が高く分野横断的な教育研究体制を構築し、「建築・都市デザイン工学専攻」「電気電子・機械工学専攻」「化学・環境・生命工学専攻」の3専攻で運営しています。

大学院では、留学支援制度(海外研究支援プログラム)や奨学金制度も充実させてグローバル社会に対応できる人材の育成も行っています。例えば、学部3年次で海外の学生と学修を共にする国際PBLに参加、その後大学院進学が決まった学部4年次に海外への留学を体験する。更に大学院進学後、海外で英語による論文発表を行うといった研究学修体制が確立しています。

大学院進学は、ご子女の卒業後の可能性を広げます。進路をお考えいただくときに、大学院進学も選択肢の一つとして是非ご検討ください。

工学部長表彰式(第1回2019年12月19日)

工学部長表彰式を大宮キャンパスにおいて、被表彰学生、各学科長、指導教員をはじめとする関係者および来賓として大阪工業大学校友会会長にご出席いただき挙行了しました。工学部各学科からの推薦に基づき優れた成績・成果を上げた学生個人39件・団体3件に対し、学芸賞を表彰しました。各個人・団体には表彰状の授与と学園校友会から副賞が贈呈されました。工学部長、大阪工業大学校友会会長からは、「さらなる努力を重ね、活躍を期待する」との激励の言葉がありました。

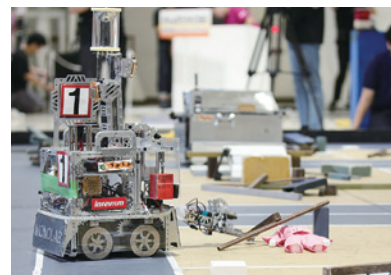


第1回工学部長表彰

学生主体のモノラボプロジェクトが活発に活動

本学では、多くの学生が研究室や学部・学科の枠を超えたプロジェクト活動に取り組んでいます。これらの多くは授業科目以外の課外活動で、それぞれの目標に向かって活動することにより、社会で活躍できる人材としての実践力を身に付けています。

ロボットプロジェクト「大工大エンジニア」が、8月10～11日に神戸サンポートホール(神戸市中央区)で開催された「inrevium杯 第19回レスキューロボットコンテスト」に出場し、「ベストロボット賞(日本ロボット学会特別賞)」、「inrevium杯」、「日本消防検定協会理事長賞」、「計測自動制御学会特別賞」の4つの特別賞に加え、大会史上初となる3度目の「レスキュー工学大賞」を受賞しました。



瓦礫を撤去するレスキューロボット



ソーラーカー「cielo」

また、ソーラーカープロジェクト「TEAM REGALIA」が2019年8月7～10日に秋田県大湯村ソーラーコースポーツラインで開催された「WORLD GREEN CHALLENGE 2019」のソーラーカー・チャレンジアドベンチャークラスに出場し、1周25kmを28周、約700kmを走り抜き、クラス3位に入賞しました。

このほか、人力飛行機プロジェクト、学生フォーミュラプロジェクトなどがあり、今後の一層の活躍が期待されます。

本学独自の教育研究を可能にする教育研究拠点と教育プログラム

「実践力のある専門職業人の育成」を教育の理念に掲げる本学には、最先端技術を教育研究する魅力的な研究センターをいくつも設置しています。ナノ材料マイクロデバイス研究センターでは、最先端材料・デバイスに関する研究を行っています。八幡工学実験場では、構造物の実大実験など、他の大学では体験できない実験を多数行っています。ものづくりセンターでは、切削加工や図面や電子回路の設計など、さまざまな実践教育が行われており、日本の技術力を育み支える人材を育成できる教育現場となっています。

加えて、グローバル人材を育成する教育プログラムとして、夏期休業期間に7学科で国立台湾科技大学などと合同でPBL授業を行いました。これは、本学と台湾などの学生が合同でチームを編成し、与えられた課題を解決することで、海外における単なる語学研修に留まらない工学知識とグローバル性を育成する教育プログラムです。

また、大学院では、海外研究機関等との研究ネットワーク構築のため、海外研究支援プログラムを実施しています。大学院に内部進学が決められている学生と修士課程の学生を選抜し、指導教員の推薦する海外の大学・機関に1ヵ月以上派遣し、その渡航費と研究活動の経費と、生活費の一部を支援します。語学習得はもとより、現地の研究者や学生から刺激を受け、研究意欲の高まりと様々な壁を乗り越える力を身に付けています。2019年度工学研究科では、アジア・ヨーロッパ・北米など、11ヵ国の大学、15機関で、16人の学生が本プログラムによる活動を行いました。

このように、学生の皆さんが、学部・大学院で確かな知識と技術を身に付け、社会で活躍できる人材として成長することを目指して教育研究活動に励んでいます。

ロボティクス
&デザイン
工学部Faculty of
Robotics
and
Design

大学院進学について

ロボティクス&デザイン工学部長・
ロボティクス&デザイン工学研究科長 大須賀 美恵子

ロボティクス&デザイン工学研究科は2017年4月に開設され、昨年度末に博士前期課程一学期を送り出しました。それぞれの就職先で活躍している様子が伝わってきています。進学者数も徐々に増えており、国際学会での発表や短期留学、企業との共同研究など、学部のワンランク上の活動に力を注いでいます。

ロボティクス&デザイン工学部の一期生が入学する2021年度には、一部のコース名称を変更し、ロボティクス、システムデザイン、建築デザイン、プロダクトデザインの4コース体制とします。博士前期課程では、所属学科や研究室によらずコースを選択することができます。

修了生には、AIやロボットに置き換わらない、人ならではの仕事、人を幸せにする仕事に就いていただきたい。そのためには高度な専門知識・技術を身に付けるだけでなく、多様な人と協働する人間力、ユーザ視点のものづくりにリーダーシップをとれる力を鍛えて社会に送り出したいと考えます。

進路を決めるのは学部3年次のとき、あつという間です。まだ先のことと思わず、大学院進学も視野に入れ、ご子女と、進路について話をされる機会を早くから持っていただければ幸いです。

ロボティクス&デザイン工学部で特徴的な授業がスタートしました!

2017年度に、梅田キャンパスのロボティクス&デザイン工学部に入学した学生も、3年目を迎えました。今年度、3年次前期から始まった必修科目の「ものづくりデザイン思考実践演習I」は、1・2年次で学んだデザイン思考と基礎知識・技術をベースに、実社会の課題解決を目指します。学生は、グローバルや産学連携などのプログラムのの中から1つのプログラムを選択。前半の第1クォーターでの事前学習を経たのち、後半の第2クォーターでは現場で実践学修に取り組みます。第2クォーターに開講される3年次向け専門科目は同演習のみのため、学生はおおよそ3ヵ月間1つの学びに専念することになります。海外実習(海外協定校とのプロジェクト他)や地域連携、産学連携の取り組みなど、多様な経験ができます。次年度以降も3学科(ロボット工学科・システムデザイン工学科・空間デザイン学科)横断の授業展開で、多様なバックグラウンドをもつメンバーでのグループワークを通して問題解決能力を養っていきます。



ロボティクス利活用研究II: ドローン



国際PBL(マレーシア・サバ大)＜受入＞

区分	No.	2019年度 プログラム名
グローバル	1	企業課題をテーマとする国際PBL(台湾:台北科技大+韓国:国民大)＜受入＞
	2	デザイン思考を取り入れた国際PBL(タイ:タマサート大)＜受入+派遣+体型＞
	3	国際PBL(マレーシア:サバ大)＜受入＞
	4	シリコンバレーワークショップ＜派遣＞
	5	国際PBL(台湾:雲林科技大)＜派遣＞
	6	ヨーロッパ建築都市デザイン研修＜派遣＞
	7	アメリカメイン州デザイン思考ワークショップ＜派遣＞
	8	ニューヨーク×Design Future(Pratt Institute)＜派遣＞
RDC	9	ロボティクス利活用研究I: 健康寿命延伸関係
	10	ロボティクス利活用研究II: ドローン

区分	No.	2019年度 プログラム名
国内	11	川上村でのワークショップ(家具づくり)
	12	北ウメダの発展と安全の研究
	13	福祉施設および福祉機器開発企業と連携した福祉機器の開発
	14	人手不足・少子高齢化の課題を解くロボットシステムインテグレータ
学内	15	ゴミ対策
	16	OITキッズカレッジの小学生向け体験プログラム開発
	17	小中高生向けロボット教育プログラム開発
	18	インタラクティブデモの製作・展示
	19	ソーシャル・イノベータ(社会起業家)育成

学部1期生、企業の採用担当者と懇談会

ロボティクス&デザイン工学部の1期生が本格的な就職活動を開始する直前のタイミングに合わせ、企業の採用担当者との懇談会を10月28日、梅田キャンパスのラーニングコモンズなどで開催しました。メカトロニクス、IT、建築設計などの各業界から、70社99名の採用担当者の参加があり、3学科の1期生103名や就職担当などの教職員と情報交換をまじえて懇談しました。

冒頭、西村前学長の挨拶、大須賀学部長の学部学科概要説明があった後、ロボティクス&デザイン工学部を代表する学科横断科目の「ものづくりデザイン思考実践演習I」の成果発表や研究エリアを中心とした施設見学ツアーを1期生自らが担当し、採用担当者を応接しました。

その後の懇親会では、業界や学科を問わず、会場の至る所で採用担当者と学生の内容の濃い交流が繰り広げられ、参加した教員が間に入っていけないほどの盛況ぶりでした。出席企業を代表して挨拶に立った株式会社毎日放送の磯澤亮祐人事局長は「学生発表では海外や企業などの有意義な活動を簡潔で分かりやすい資料にまとめられていて、その質の高さに驚きました。情報交換会では企業の採用担当者と堂々と会話を楽しんでいる学生を見て、デザイン思考を含めた学部教育の成果を肌で感じました」と感想を述べられました。



学科横断科目の成果発表会



終始賑やかな雰囲気で行われた懇談会



企業採用担当者と活発に意見交換する学生

大学院進学について

情報科学部長・
情報科学研究科長 佐野 睦夫

国の第5期科学技術基本計画(2016~2020年度)では、未来社会の姿としてサイバー空間と現実空間が融合した「ソサエティ5.0」が提唱され、AIやデータ処理に強い人材の育成の枠組みが作られてきています。情報科学部でも2021年度からデータサイエンス学科を新設し、AIを使える人材を育成します。

次期基本計画(2021年度~)においても、現行計画を凌駕しつつ、SDGsなど持続可能なスマート社会実現を目指す方向性が示され、AIや情報技術の重要性が益々高まって来ています。

大学院情報科学研究科では、これからの情報革新時代に企業や社会で求められる技術力を磨き、留学や学会発表・企業との共同研究・行政との社会実証実験などを経験して、最先端のAIを含む情報技術を扱える「高度専門技術職」として活躍する実力を養うことができます。第4次産業革命として社会変革が起ころうとしている中、今まさに、大学院で磨きをかけた人材が必要とされています。

本学では大学院奨学金制度が一段と充実し、推薦入学で進学する全ての大学院生に返還する必要のない奨学金が給付されます。ご子女の皆さんにぜひ大学院への進学を薦めていただき、成長への挑戦にご支援をよろしくお願いいたします。

知能応用システム研究室、Hirathon2019で最優秀賞、社会人基礎力育成グランプリ全国決勝大会で準大賞

本学部情報知能学科の尾崎敦夫教授が指導する知能応用システム研究室は、昨年12月に本学部で開催された「ひらかたアイデアソン・ハッカソンプロジェクト」(通称:Hirathon“ヒラソン”2019)の成果発表会で最優秀賞を獲得するとともに、社会人基礎力育成グランプリ近畿地区予選大会でも最優秀賞を獲得、2月の全国決勝大会に出場し、2位に相当する準大賞を受賞しました。

Hirathonは、AIデータサイエンス的アプローチにより、地域課題の解決を目的とした産官学による大型プロジェクトです(主催:本学部、共催:枚方市役所と北大阪商工会議所、協賛:ソフトバンク株式会社)。知能応用システム研究室の学生達が中心となり提案した方式



社会人基礎力育成グランプリ全国決勝大会にて

は、枚方市で毎月開催される大規模イベント「枚方宿くらわんか五六市」において、Wi-Fi機能を用いて来場者が所持するスマートフォンなどの通信機器の台数を検知し、来場者の分布をリアルタイムに把握することにより効率的な警備体制や災害時での避難誘導体制を構築するものです。

また、この提案方式を試作するまでに幾多の技術的・倫理的課題を解決していったプロセスを社会人基礎力育成グランプリで発表しました。今後は提案した方式の実用化を目指しつつ、学生達が技術者としてだけでなく社会人として成長していくことを期待しています。



Hirathon“ヒラソン”2019で最優秀賞を獲得したメンバー

「ロボカップジャパンオープン2019ながおか」にて情報科学部とR&D工学部の合同チームが「@ホームオープンプラットフォームリーグ」で準優勝

昨年8月16日(金)から18日(日)にかけて新潟県長岡市で行われた「ロボカップジャパンオープン2019ながおか」において、情報科学部とR&D工学部の学生で編成したチーム「O.I.T. Trial」が「@（アット）ホームオープンプラットフォームリーグ」の競技で準優勝という好成績を収めました。

ロボカップ@ホームとは日常生活でのロボットの利用を想定し、リビングルームやキッチンなどの家庭環境において、ロボットがいかに人間との暮らしに役立つ作業を遂行できるかを競う大会です。ロボットの機能だけではなく、その将来的なビジョンを示すプレゼンテーションについても



森田さんによるプレゼンテーション

評価の対象となっています。

@ホームのうち、オープンプラットフォームリーグは自作ロボットで競技する部門で、情報科学部の「ラサラス」とR&D工学部の「ASAHI」の2体のロボットが出場し、予選で2位につけると、森田耀仁さん(コンピュータ学科4年次)がプレゼンターを務め、「照明光の強度や色に影響されない画像情報を取得できるロボットビジョン」をテーマにその実用可能性についてプレゼンテーションを行いました。このプレゼンテーションは審査員から高い評価を得て参加したリーグでは準優勝となり、また、プレゼンテーションのテーマは、新規性の高さから日本ロボット学会賞も受賞しました。



「ロボカップジャパンオープン2019ながおか」の会場にて

専門職大学院進学のお勧め

知的財産研究科長 小林 昭寛



「知的財産」は、人間の知恵から生まれた無形の財産であり、特許、意匠、商標、著作物などが含まれます。具体例として、発明など新しい技術的アイデア、製品デザイン、ブランド、ゲームや音楽コンテンツなどが分かり易いかもしれません。

法的に保護された知的財産を持っていれば、競合他社が類似の製品を製造したり販売することを止められますから、企業の差別化戦略の大きな助けになります。そのため企業は、知的財産の専門家を強く求めています。人材に対する要求レベルも高く、人材供給が追いついていません。

逆に言えば、企業が求める知的財産の専門家になれば、就職も非常に有利になるということです。実際に、本大学院の修了生の多くが即戦力として企業で活躍しています。とくに知的財産学

部から学内進学した修了生は、高い専門性を評価されています。

こうした背景から、学部卒業後の進路として大学院・知的財産研究科への進学をお勧めする次第です。

専門職大学院のお勧め

知的財産学部長 林 茂樹



知財保護に端を発する米国と中国との貿易戦争が激化するなど、知的財産への注目が全世界的に高まってきました。今後データドリブンイノベーションやデザインドリブンイノベーションにより大幅な変革がもたらされると予想されます。この激しい環境の中、社会で活躍するためには、知的財産など特定分野の専門的知識を深めるとともに、コネクテッド(つながった)社会の特殊性を把握し、仕事の流れの中で、何が重要で、どのようにすれば自分の価値を向上できるか等、ビジネススキームを鳥瞰できる能力が大変重要になってきました。

企業は全体を把握しながら、即座に行動できる専門性を保有した即戦力を求める傾向がますます強くなってきております。企業が支払う賃金も年功序列型から、各人の能力に基づいた賃金制度に変わってきております。企業からの専門性を持った即戦力人材のニーズの高まりに対応し、時代に即応した価値ある人材として活躍できる能力構築のため、学生の皆さんには、より高度な専門性を磨くことが可能な知的財産専門職大学院への進学を強くお勧めします。

知的財産学部の学生が3年連続最年少で弁理士試験に合格の快挙!!

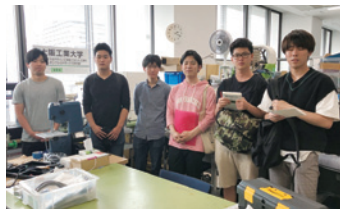
本学知的財産学部3年次の学生が、2019年度弁理士試験に全国最年少(受験時20歳)で合格しました。同試験は難関として知られ、今年度も合格率8.1%という狭き門でしたが、昨年に引き続き3年連続で現役学生から最年少合格者を輩出しました。

本学部が主催する段階的な試験対策など、きめ細やかなサポート体制がある「弁理士受験会」の他、先輩が後輩を教えて学び合う仕組みを取り入れており、これらの体制を上手く活用して学生達は弁理士試験合格を目指して切磋琢磨しています。3年連続で現役学生から最年少合格者を輩出したことで“毎年合格者を輩出するサポートの仕組み”が機能していることが証明されました。本学部は国内唯一の知的財産の専門学部として、知的財産のプロフェッショナルの養成にさらに注力します。

知財PR隊の活動報告

2019年度の知財PR隊は、ロボティクス&デザイン工学部のフレキシブルロボティクス研究室と工学部OBの会社との共同研究「ヒトデの管足模倣型のソフトアクチュエータ技術を用いた褥瘡(床ずれ)予防装置の研究開発」で「研究マネジメントチーム」を担当しました(リーダー:楠直也さん、学部生4名)。

本活動では、特許取得に向けた技術的特徴の検討や特許調査だけでなく、デザイン思考に基づく研究開発を実現するための市場調査を実施しました。350ほどある大阪市内の医療・介護施設を対象にしたアンケート調査およびヒアリング調査では、現場が直面している床ずれ問題の深刻さに驚きましたが、新たな解決に対する現場の期待が伝わり、本研究の重要性を痛感しました。今後、デザイン思考に基づく産学連携研究開発のあり方について分析し提言していく予定です。本研究は、2019年度大阪工業大学ブランド創出課題として研究助成を受けており、今後の展開が期待されています。



知財PR隊

学部・大学院合同企業懇談会を開催

2019年12月16日梅田キャンパスにおいて学部・大学院合同の企業懇談会を開催し、企業関係者52名を含め、学部・大学院生合わせて約100人が参加しました。

これは毎年学生が中心になって運営する懇談会で、企業の知的財産部門をはじめ、採用担当の方々をお招きし、本学の教育の特色や学生の活動成果報告のPRの場として活用しています。

当日は学生の司会進行によりインターンシップ、課外活動(ゼミ活動、産学連携プロジェクト(知財PR隊)、ピブリオバトル)報告、留学体験報告が行われました。

活動報告会終了後は情報交換会を行ない、学生たちは積極的に参加企業の方々に話しかけ、企業で働くことの意義や厳しさについて体感していました。これから就職活動始める学生諸君にとって、大変貴重な体験となりました。



企業懇談会

早期進学制度について

成績優秀者は学部を3年次で卒業し、大学院に進学できる制度があります。学部3年、大学院2年の計5年間という短期間で修士号「知的財産修士(専門職)」を取得でき、高度な専門職として活躍する道が開けます。今年度は7人の学生がこの制度で進学しました。また、大学院を修了し、一定の条件を満たせば弁理士試験の一部が免除されます。

進路の選択肢の一つとして、知的財産専門職大学院への進学を検討されてはいかがですか。